

## 東住吉区を知る—大和川—

区の南側を西へと向かう大和川の流れは、およそ300年前の工事によって付け替えられたものです。かつては大阪城の北側で淀川に合流していましたが、川筋はたびたび洪水に襲われていました。流域に位置する村の庄屋である中甚兵衛が、長年幕府や奉行所に付け替え工事を陳情。1704(宝永 元)年に工事は完成しました。その後大和川的环境は、昭和30年代後半から悪化の一途をたどりましたが、近年は水質も大幅に改善され、大和川の再生を目指す取り組みが行われています。

### 『大和川の歴史 -土地に刻まれた記憶-』


安村俊史著 清文堂出版 2020

### 『甚兵衛と大和川—北から西への改流・300年—』

中九兵衛著 中九兵衛 2004 \*

### 『甚兵衛と大和川—ジュニア版—』

中九兵衛著 中九兵衛 2007 \* 


『わたしたちの大和川』『わたしたちの大和川』研究会監修・編集「わたしたちの大和川」研究会 1999 \* 

『大和川の自然』大阪市立自然史博物館編著 東海大学出版会 2007 \*

『流域歳時記・甚兵衛と大和川—この日何の日—』中九兵衛著 中九兵衛 2011 \*

この調べかたガイドでは、東住吉区をテーマに4つのトピックを選び出し、それについて調べるのに役立つ情報源を、わかりやすく紹介しています。

東住吉図書館に所蔵しているものは、書誌事項の後に\*をつけて表示しています。( \*の無いものも取り寄せできます。)

小学生から読めるものは書誌事項の後に  オムリンマークをつけています。

**WEB** 大阪市立図書館のホームページ

紹介した資料やホームページなどはほんの一例です。図書館ホームページ「おおさか資料室」や各館のページにも「よくある質問」や区に関する資料のリストを掲載しています。

より詳しくお知りになりたいときは、図書館のカウンターへご相談ください。図書館司書がお手伝いします。

調べかたガイド: 各区版

## 東住吉区の調べかた

東住吉区の史跡・名勝・建築

—長居公園—

東住吉区の人物・伝説—開高健—

東住吉区の民俗・文化—田辺大根—

東住吉区を知る—大和川—



東住吉区マスコットキャラクター  
「なっぴー」

## 大阪市立東住吉図書館

〒546-0032 大阪市東住吉区東田辺2-11-28

TEL 06-6699-7000

<https://www.oml.city.osaka.lg.jp>

**開館時間** 火～金曜日(第3木曜日は休館)

10:00～19:00

土・日曜日、祝・休日

10:00～17:00

**休館日** ●月曜日、第3木曜日(祝・休日は開館)

●年末年始 ●蔵書点検期間

## 東住吉区の調べかた

Ver. 5 2026.3改訂

### 東住吉区の史跡・名勝・建築—長居公園—


陸上競技場をはじめ、さまざまなスポーツ施設、植物園、また自然史博物館と、設備が充実した公園は市民に広く親しまれています。Jリーグのサッカーチーム、セレッソ大阪のホームスタジアムとしても有名です。昭和のはじめ、都市計画事業によって設置が計画され、戦後になって、運動公園として整備されていきました。昭和20年代から30年代には、競馬場や競輪場も設けられていました。1997年になみはや国体、2002年に日韓サッカーワールドカップ大会、2007年には世界陸上の開催など、スポーツ大会が盛んに開催されています。東住吉区役所のホームページの「まちづくり」内、「まち歩き・歴史講座」には、「東住吉100物語」のページがあり、区内の史跡や、また産業などさまざまな話題を、画像を盛り込みわかりやすく紹介しています。長居公園も、写真入りで紹介されています。

#### 『東住吉区史—現東住吉区・平野区—』

川端直正編 市民日報社 1987 \*

『大阪史蹟辞典』三善貞司編 清文堂 1986 \*

『ひがしすみよし今昔写真集—東住吉区創設 50 周年記念—』東住吉区創設 50 周年記念事業委員会 1993 \*

『東住吉区「まちの魅力探索ブック」—東住吉区の楽しみかた—』大阪市東住吉区役所 2002 \* 

大阪市東住吉区:051長居公園

<https://www.city.osaka.lg.jp/higashisumiyoshi/page/0000033869.html>

### 東住吉区の人物・伝説—開高健—

作家、開高健(1930~1989)は大阪で生まれ育ちました。少年期から青年期にかけて、東住吉区で過ごしています。区内の近鉄北田辺駅前には、2005年に記念の文学碑が建てられました。コピーライターとしても多くの名文句を生み出し、多芸多才な作家として知られています。文壇に登場後は数々の話題作を発表し、1958年『裸の王様』で第38回芥川賞を受賞しました。海外取材も数多く、新聞社の特派員として戦時下のベトナムなどを訪れています。後年は料理と釣魚にまつわる作品も注目を集めました。東住吉図書館では、「開高健コーナー」を設け、彼の著作をはじめとした様々な出版物を収集しています。

『開高健 -生きた、書いた、ぶつかった!-』小玉武著 筑摩書房 2017 \*

『大阪で生まれた開高健』難波利三著 たる出版 2011 \*

『開高健:増補新版 -生誕 85 周年記念総特集-』

河出書房新社 2015 \*

『北田辺開高健文学碑建立記念 -2005 年 11 月 5 日 建立-』開高健文学碑建立実行委員会 2006 \*

『開高健の名言』谷沢永一著 ロングセラーズ 2015 \*

『開高健-Portrait de Kaiko-』開高健記念会 2004 \*

『開高健がいた。』コロナ・ブックス編集部編 平凡社 2003 \*

### 東住吉区の民俗・文化—田辺大根—


「なにわ伝統野菜」の一つである田辺大根は、かつては田辺地区の特産品でした。昭和初期まで、田辺地区は農村地帯でした。田辺大根は白首の大根で、長さは約20センチメートル、太さは約9センチメートル。丸みをおびたずんぐりとした形です。生だと刺激的な辛みがありますが、加熱すると辛みが消え、甘くなります。約400年前から栽培されていたとされ、全国的にも有名な農産物でしたが、昭和初期ごろから生産は衰退していきました。しかし近年、まちづくりを考える地域の人々の努力で栽培が復活し、広めようとする活動がすすめられています。

『なにわの伝統野菜』大阪府立農林技術センター 2001 \*

『なにわ大阪の伝統野菜』なにわ特産物食文化研究会編著 農山漁村文化協会 2002 \*

『大阪春秋 111号 おおさかの伝統野菜』大阪春秋社 2003 \*

『大阪人(OSAKA-JIN) 2011年3月 伝統野菜』大阪市都市工学情報センター 2011 \*

『田辺大根レシピ集—なにわの伝統野菜—vol.2』東住吉区役所区民企画課 2016 \* 

WEB「東住吉図書館」→「東住吉区を知る」→「郷土史よくある質問」→『田辺大根について』



東住吉区の花:なでしこ